

3年（ ）組（ ）番 氏名（ ）

地理B 年次末考查問題

実施日時：2022年1月26日（水）第3時限

出題者：加藤 一郎

受考上の注意……よく読んでから解答を開始せよ。

- ☐ 問題は11ページまでである。
- ☐ 解答用紙と地図（国・首都と地形）は問題冊子に挟んである。
- ☐ 作図・作表の問題は、問題冊子中の図表に書き込んで解答せよ。
- ☐ 解答用紙と地図は問題冊子に挟んで提出せよ。
- ☐ 字数制限のある問題では、句読点も文字数に含む。
- ☐ 不必要なひらがなでの解答や誤字等は減点する。

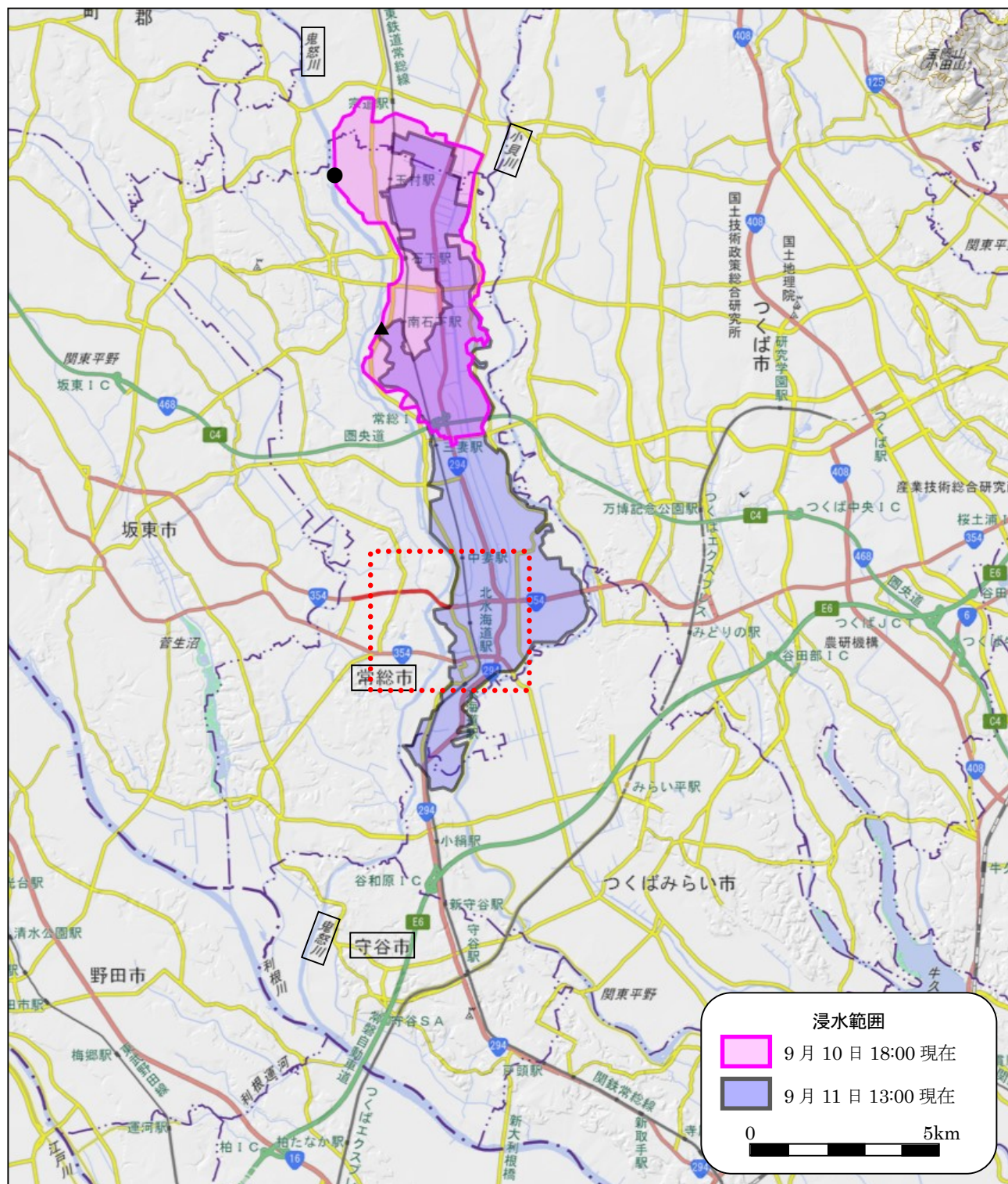
今年度の地理Bは、一年を通じて「今、起こっていることを地理的に考察する」授業を展開します。ここでの「地理的」とは、地球上で起こっていることを自然環境、産業、文化、歴史などさまざまな視点で見ていくことをいいます。その上で、これからの社会はどうあるべきか、一緒に考えていきましょう。

* 問題と解答は、地理Bのホームページで公開します。

<https://seifu.sakura.ne.jp/324/2021/chiri/#teikikousa>



第1問 2015年9月の関東・東北豪雨によって、茨城県常総（じょうそう）市を流れる鬼怒（きぬ）川では、9月10日に堤防からの越水や堤防の決壊が発生した。あとの各問に答えよ。(50)



- (注)
- ・ 浸水範囲の一部には、省略している区域や未確定の境界線が含まれる。
 - ・ ●は越水地点、▲は決壊地点を示す。
 - ・ 赤色の点線で囲まれた範囲は、問題冊子 p.4 の図2の範囲を示す。

(地理院地図により作成)

図1

問1 次の文章は、図1を読みとって気づいたことなどをまとめたものである。下線部が正しければ○を，誤っていれば正しく訂正せよ。(8)

鬼怒川は栃木県日光市に源を発し，茨城県守谷市付近で（a）利根川に合流する全長約 180km の河川である。鬼怒川の下流に位置する常総市では，2015 年 9 月の関東・東北豪雨によって広範な区域が浸水した。図1中の浸水範囲を見ると，浸水したのは鬼怒川と小貝（こかい）川に挟まれた低地である。浸水範囲は，時間の経過とともに（b）南へ拡大しているので，鬼怒川は（c）南から北へ流れていることがわかる。したがって，堤防からの越水や堤防の決壊が発生したのは鬼怒川の（d）右岸である。

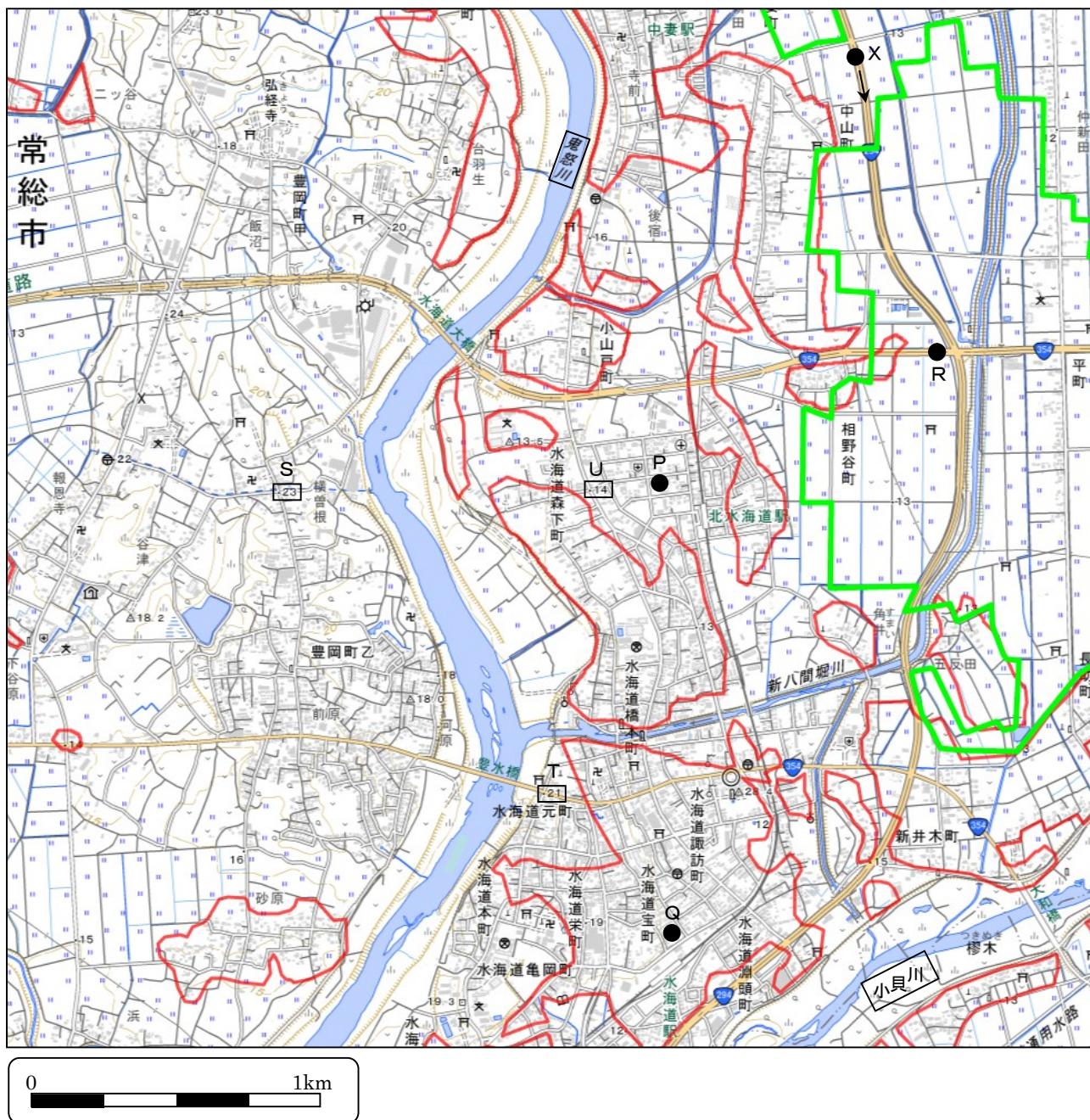


図 2

問2 図2を見ると、堤防からの越水や堤防の決壊が発生した5日後の9月15日10:30時点でも、依然として浸水している範囲が存在する。(10)

- (i) 9月15日10:30時点の浸水範囲を緑色の斜線で記入せよ。そのさい、問題冊子p.2の図1も参考にすること。なお、境界線をなぞってから目の細かい斜線をていねいに記入すること。(4)
- (ii) 表1は、図2中の地点P～Rにおける浸水の時間変化についてまとめるために用意したものである。各時点における浸水の有無（浸水あり：○，浸水なし：×）のいずれかを表1中に記入し、表1を完成させよ。そのさい、問題冊子p.2の図1も用いること。(6)

表1

地点	9月10日18:00	9月11日13:00	9月15日10:30
P			
Q			
R			

(凡例) 浸水あり：○，浸水なし：×

問3 図2中の赤色の実線で囲まれた範囲に注目すると、図2中に見られる地形の違いに気づく。(12)

- (i) 鬼怒川よりも東側のエリアを、赤色の実線で囲まれた範囲（「範囲A」とする）とそれ以外の範囲（「範囲B」とする）に分けると土地利用に大きな違いがあることに気づく。範囲Aと範囲Bの土地利用の違いについて、2行以内の文章で答えよ。(4)
- (ii) 先ほどの(i)の設問と問2から判断すると、範囲Aの地形は、地理院地図の分類では（ a ）である。また、範囲Bの地形は、一部を除いて大部分が教科書の分類では（ b ）である。空欄にあてはまる語句を、表2から選んでそれぞれ答えよ。(8)

表2

	地形分類				地形の説明
	教科書		対応	地理院地図	
低地	氾濫原	自然堤防	➡	自然堤防	周りよりも数十cm～数m高い低地の中の微高地
		後背湿地	➡	氾濫平野	低地の中の一般的な地形面
			➡	後背低地・湿地	低地の中でもとくに低いところ
			➡	旧河道	古い川の流れの跡
高台	台地		➡	台地・段丘	低地よりも数m～数十m高い高台

(注) 地理の教科書と地理院地図の地形分類は、名称や分類に違いがある。表2は、教科書と地理院地図の地形分類の対応関係をまとめたものである。

問4 図2中の地点S～Uの標高に注目して、地点S・T付近の地形について考えよう。(8)

- (i) 表3は、図2中の地点S～Uの標高を比較するために用意したものである。表3中にあてはまる数字を記入し、表3を完成させよ。(4)

表3

地点	標高	地点Uの標高との差(比高)
S	m	m
T	m	m
U	m	

(注) 比高は、地点SまたはTの標高から地点Uの標高を引いたもの。

- (ii) 先ほどの設問(i)と問題冊子p.5の表2から判断すると、地点S・Tの地形はいずれも()である。空欄にあてはまる地形の名称を、地理院地図の分類で答えよ。(4)

問5 あなたは、堤防からの越水や堤防の決壊が発生する2時間前に、図2中の地点Xを矢印の方向に走行している自動車の運転手であると仮定して、どこに避難すべきか考えよう。ただし、問1～4をふまえて考えるものとする。(12)

- (i) 越水や決壊の危険性が高いことを知ったあなたは、できるだけ安全な場所へ避難しようと考えた。そこで、自動車を路肩に止め、地理院地図を開いて避難場所を検索し、自動車のナビにセットして出発した。あなたが避難場所として選んだ*学校(小中高)を図2中から一つだけ選んで、地形図記号を青色の○で囲め。(4)

* 文：小中学校 ⊗：高校

- (ii) 地点Xから先ほどの設問(i)で答えた学校までの自動車の走行ルートを、図2中に青色の太い実線ではっきりと記入せよ。(4)

- (iii) 先ほどの設問(i)で答えた学校を選んだ理由について、その学校が立地する地形の名称と浸水の可能性の有無にふれながら2行以内の文章で答えよ。ただし、先ほどの設問(i)で適切な避難場所(学校)が答えられていることが採点の条件である。(4)

第2問 図1は、カップヌードルの製造と販売の両方が行われている国を示したものである。現在、これらの国々で製造されたカップヌードルは国内だけではなく、担当する地域の国々にも輸出されており、今や100ヶ国以上で販売されている世界的な商品である。カップヌードルの世界戦略に関する各問に答えよ。(30)



(<https://www.nissin.com/jp/about/#oversea> により作成)

図1

先生：今やカップヌードルは100ヶ国以上で販売されているそうですよ。

生徒：でも、図1を見ると、着色されている国はそんなにたくさんありません。

先生：これらの国々の拠点となる工場で製造された商品は、工場が担当する近隣諸国に輸出されているんです。

生徒：なるほど…。どうせなら、日本の国内で製造して各国に輸出した方が早いんじゃないかと…。

先生：そういう考えもありますね。実は、世界中で販売されているカップヌードルは日本国内の商品とは違って、国や地域で異なる食習慣や味付けの好みに合わせているんです。

生徒：そういえば、ずいぶん前の授業で同じようなことを考えたのを思い出しました。英語ではローカライゼーション、日本語では（ ）でしたね。

問1 空欄にあてはまる語句を答えよ。(2)

問2 下線部に関して、次の文章ア～エは、図1中の国A～Dのいずれかで製造販売されているカップヌードルの味付けや特徴をまとめたものである。国A～Dにあてはまる文章を、それぞれ選んで答えよ。(4)

ア 宗教上の理由から原材料に豚肉を使用せず、シーフードやチキンを用いた商品に特徴がある。

イ 宗教上の理由から肉食を避ける人々が多く、ベジタリアン向けの商品に特徴がある。

ウ トウガラシの原産地としても知られるこの国では、辛い料理を好む人々が多く、ハバネロソース付きの商品もある。

エ 辛さのなかにほどよい酸味とココナッツミルクの甘さ、シーフードからのうまみで有名なこの国の代表的な海鮮スープ料理をベースにした商品に特徴がある。

生徒：いまいち納得できないことがあるんですよね…。

先生：どういことですか？

生徒：拠点工場で製造された商品を近隣諸国に輸出するとなると、(1)輸入国の政府は関税をかけると思うんです。だったら、それぞれの国で製造して販売した方がいいんじゃないかと…。

先生：なるほど…。では、東南アジアを例に考えてみましょう。図1を見ると、東南アジアでカップヌードルを製造販売している国は、*国C・D以外に(2)もう2ヶ国ありますね。四つの国はすべて東南アジア諸国連合・()に加盟しています。現在、加盟国間の関税は撤廃されているんです。商品の移動の自由化を図り、分業を促進して一層の経済成長をねらっているんですね。これは東南アジアだけではなく、世界全体のトレンドですよ。

* 授業ではシンガポールを含むと説明したクラスもありますが、誤りでした。訂正してお詫びします。

問3 空欄にあてはまる語句を、ローマ字で答えよ。(2)

問4 下線部(1)に関して、図2は、X国の工場で製造されたカップヌードルがY国の輸入会社に輸出され、Y国の消費者に届くまでの商品とお金の流れをまとめたものである。Y国の輸入会社はX国の工場から150円で輸入し、Y国政府に輸入額の10%の関税を支払ったとする。あとのア～エの文章は、図2に関して説明したものである。正しいものをすべて選んで答えよ。(4)

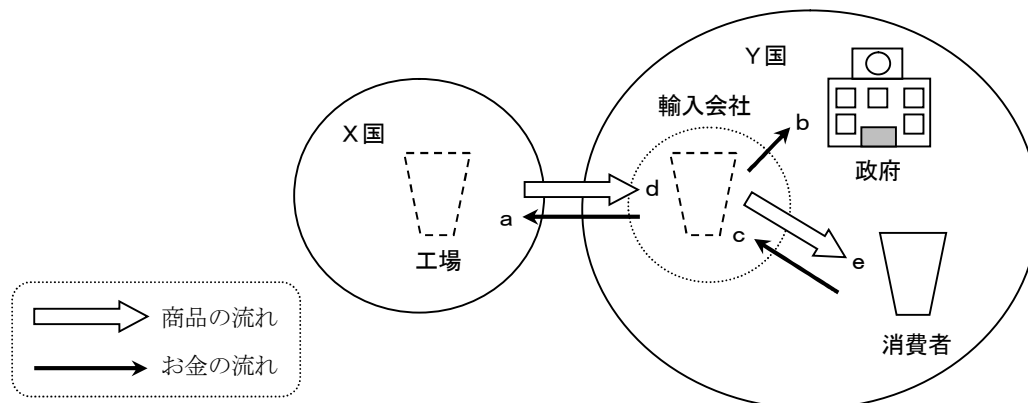


図2

ア 関税にあたる矢印はbであり、輸入会社が支払う関税は15円である。

イ 輸入会社は165円以上の値段で消費者に販売することになる。

ウ 関税を納めるのは輸入会社で、関税を負担するのは消費者である。したがって関税は直接税の一つである。

エ 関税は輸入品の価格を引き上げることから、関税の主要な目的は国内同業メーカーを保護することである。

問5 下線部(2)に関して、2ヶ国の名称をそれぞれ答えよ。(4)

生徒：図 1 を見ると、ヨーロッパで販売されるカップヌードルは、ハンガリーとキプロスで製造されているようです。

先生：その通りです。ハンガリーとキプロスは、ヨーロッパ 27 ヶ国から構成される（ ）に加盟しています。

生徒：なるほど。加盟国間の関税は撤廃されていますから、人件費の安い国で製造しているんですね。

先生：そうですね。でも、ヨーロッパは環境や健康、人権に対する意識が高く、単に値段が安ければ売れるというわけではないようですよ。

生徒：ネットで調べたところ、カップヌードルの麺を揚げる植物油は、RSPO 認証パーム油が使われているそうです。

問6 空欄にあてはまる語句を、ローマ字で答えよ。また、日本語でも答えよ。(4)

問7 下線部に関する各問に答えよ。(10)

- (i) 植物油にはパーム油のほかにも、オリーブ油、大豆油などがある。表 1 は、パーム油、オリーブ油、大豆油のいずれかの生産量上位 5 ヶ国の生産量と、世界の生産量に対する割合をまとめたものである。あとの文章は、三つの植物油の原料になる作物について説明したものである。原料となる作物の説明を参考にしながら、パーム油とオリーブ油にあてはまるものをそれぞれ選んで答えよ。(4)

表 1

ア				イ			
		(万トン)	(%)			(万トン)	(%)
1	スペイン	113	36.5	1	中国	1553	25.9
2	イタリア	34	10.9	2	アメリカ合衆国	1129	18.9
3	ギリシャ	29	9.4	3	ブラジル	1126	18.8
4	チュニジア	24	7.7	4	アルゼンチン	808	13.5
5	トルコ	22	7.0	5	インド	144	2.4

ウ			
		(万トン)	(%)
1	インドネシア	4287	57.4
2	マレーシア	1986	26.6
3	タイ	304	4.1
4	コロンビア	153	2.0
5	ナイジェリア	122	1.6

(注) 統計年次は 2019 年。

(FAOSTAT により作成)

- ・ アブラヤシ (パーム油の原料) ・ 原産地は熱帯西アフリカの雨林帯。
- ・ オリーブ ・ 原産地は地中海沿岸。乾燥に強く、荒地に強い。
- ・ 大豆 ・ 東アジアが原産とされる。短期間に実るので、寒冷地でも夏を利用して栽培可能。

- (ii) 次の文章は、RSPO（持続可能なパーム油のための円卓会議）と RSPO 認証について説明したものである。下線部が正しければ○を、誤っていれば正しく訂正せよ。(6)

パーム油は食用にとどまらず、せっけんや洗剤、バイオ燃料などさまざまな用途があることから、近年、ほかの植物油に比べて需要が急激に拡大している。図3は、パーム油、オリーブ油、大豆油の世界全体の生産量の推移を示しているが、先ほどの設問(i)をふまえて判断すると、パーム油とオリーブ油はそれぞれ(a) アとイの折れ線である。一方で、パーム油の原料となるアブラヤシ農園の開発は深刻な環境破壊を引き起こすことや、農園で働く人々の人権が十分に守られていない（低賃金・長時間労働など）といった問題が指摘されてきた。RSPOは持続可能なパーム油の生産と利用の促進を目的に設立された国際 NGO（非政府組織）であり、RSPO が定めた基準を満たしたパーム油に与えられる認証が RSPO 認証である。RSPO の目指す社会のあり方は、国連開発計画（UNDP）の持続可能な開発目標・(b) ESDとの共通点が多い。

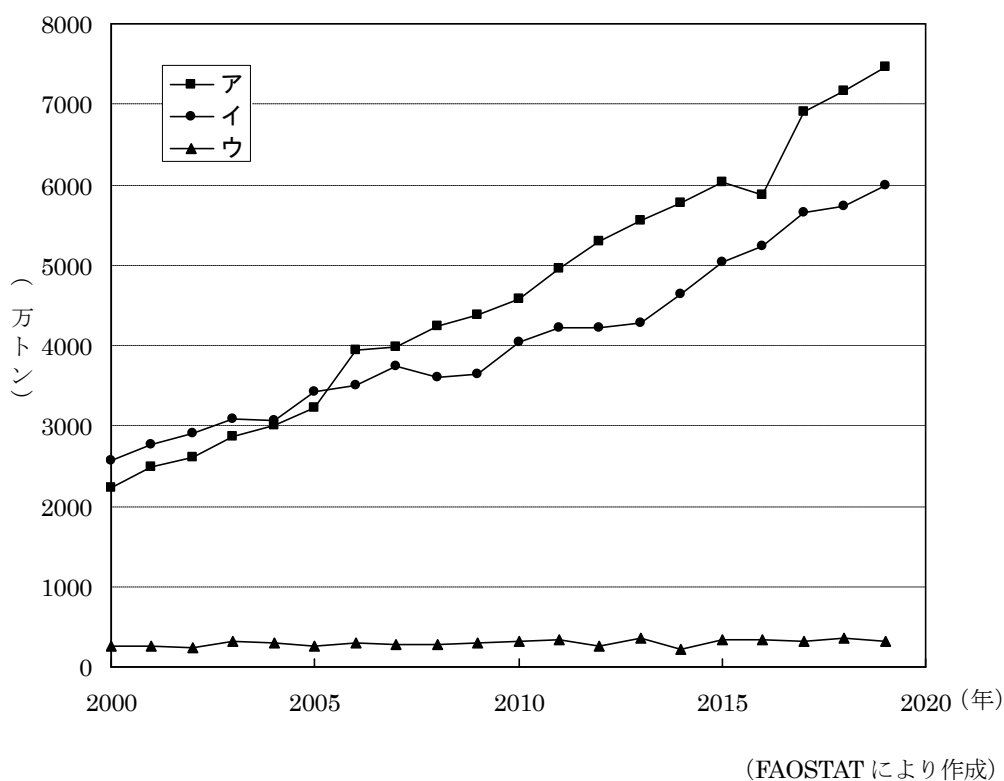


図3

第3問 国・首都・地形の名称に関する各問に答えよ。なお、国・首都と地形の位置は問題冊子に挟んであるA4版の地図を用いて答えよ。(20)

問1 次の説明にあてはまる国の位置と名称をそれぞれ答えよ。(8)

- a. 南は黒海に面し、ナイチンゲールで有名な19世紀のクリミア戦争では主戦場。クリミア（クリム）半島の一部は現在、ロシアが占領中。原発事故が起きたチェルノブイリはこの国の北部。
- b. 世界中のユダヤ人がここに集まって1948年に建国。アラブ（パレスチナ）人との衝突が続く。ヨルダン川西岸地区は、ユダヤ人居住区とアラブ人居住区を高い壁で仕切る。
- c. スエズ運河開通以前、ケープタウンはヨーロッパとアジアを結ぶ重要な中継地。金やダイヤモンドの世界的生産国。1990年ごろまで人種隔離政策「アパルトヘイト」を実施。
- d. カストロらによる革命は1959年に成功。以後、社会主義政策を進めてアメリカと断交。オバマ政権時の2015年に国交回復。タバコ・サトウキビの世界的生産国。

問2 次の説明にあてはまる国の首都の位置と名称をそれぞれ答えよ。(4)

- a. 世界最大の国。世界初の社会主義国ソ連を継承する国連安全保障理事会常任理事国。石油などの資源豊富。ウラル山脈以東のシベリアは地域区分上アジアに分類。
- b. 1945年まで日本の植民地。1948年にアメリカの支援を受けて成立。1965年以降、日本の援助で工業化に成功。1988年にオリンピック開催。焼肉、キムチ。

問3 次の説明にあてはまる地形の位置と名称をそれぞれ答えよ。(8)

- a. 河口は上海（シャンハイ）。中流の武漢（ウーハン）まで大型船が航行可能。上流には世界最大級のダムが建設。
(川)
- b. 北アメリカ大陸西部を南北に縦断する山脈。この山脈からミシシッピ川の支流など多くの川が流出。(山脈)
- c. プレートの下からマグマが絶え間なく吹き上がる場所（ホットスポット）に位置する諸島。マウナケア山は4000m級の火山。マウイ島は日本人にもなじみのある観光地。(諸島)
- d. 黒海のエーゲ海（地中海）への出口。この海峡を境に西側がヨーロッパ、東側がアジア。トルコの大都市イスタンブールはこの海峡に面する。(海峡)

※ 問題終わり。

地理B 年次末考査解答用紙

第1問 (50)

問1	a	b	c	d
問3	i	* 2行以内		
	ii			
問4	ii			
問5	iii	* 2行以内		

第2問 (30)

問1					
問2	A	B	C	D	* 各1点
問3					
問4					* 完答4点
問5					* 各2点
問6	ローマ字:	漢字:			* 各2点
問7	i	パーム油:	オリーブ油:	* 完答4点	
	ii	a	b		

第3問 (20)

問1	a	番号:	国:	b	番号:	国:
	c	番号:	国:	d	番号:	国:
問2	a	番号:	首都:	b	番号:	首都:
問3	a	記号:	川:	b	記号:	山脈:
	c	記号:	諸島:	d	記号:	海峡:

- p.4 図2: 浸水範囲 (緑), 学校 (青), ルート (青) () 点/12点
- p.5 表1: 浸水範囲の時間変化 (P・Q・R各2点) () 点/6点
- p.6 表3: 標高と比高 (完答4点) () 点/4点

3年 () 組 () 番 氏名 ()